

手順編

STEP0.壁掛大便器スタンド ▶ 32	STEP11.前板(取り付け) ▶ 68
STEP1.フレーム ▶ 35	STEP12.ベビーチェア・ ボード部 ▶ 71
STEP2.フィラー固定材・ 側板 (側板がある場合) ▶ 45	STEP13.幼児用小便器 ▶ 73
STEP3.汚物流し用 排水継手 ▶ 48	STEP14.汚物流し ▶ 75
STEP4.止水栓 ▶ 49	STEP15.汚物流し用 セットタンク ▶ 78
STEP5.側面パネル・ 前板(準備) ▶ 53	STEP16.便器洗浄ユニット ▶ 84
STEP6.大便器 ▶ 56	STEP17.タッチスイッチ ▶ 87
STEP7.大便器用セットタンク ▶ 60	STEP18.器具類 ▶ 88
STEP8.幅木 ▶ 62	STEP19.甲板 ▶ 89
STEP9.フィラー ▶ 63	STEP20.手洗器 ▶ 93
STEP10.洗面器 ▶ 64	STEP21.大便器周辺器具類 ▶ 96
	STEP22.試運転・確認 ▶ 100

マーク表示について



手締めで

電動ドライバー使用禁止です。
手締めしてください。



下穴
φ3

下穴をあけてください。
(例:φ3の場合)



カット

カットしてください。



脱脂

脱脂用アルコールで
脱脂してください。



250mm以上の
ロングビット

ロングビットの電動ドライバーを
使用してください。



けがき



けがき

けがきをしてください。



水平確認



垂直確認

水平器で水平・垂直確認
してください。

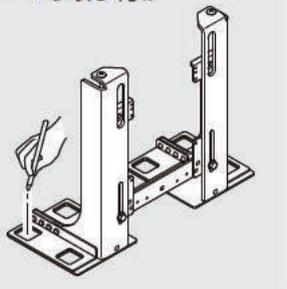


塗布
塩ビ用
接着剤

塩ビ用接着剤を塗布
してください。
(例:塗布の場合)

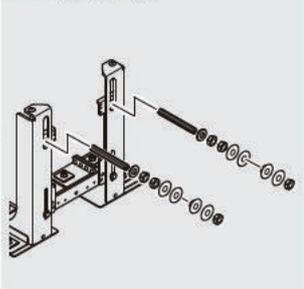
STEP0.壁掛大便器スタンド

1 壁掛大便器スタンドの取り付け



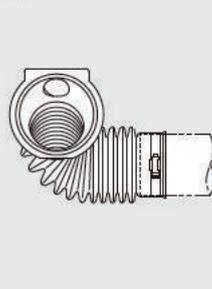
▶P.32

2 便器取付ボルトの仮固定



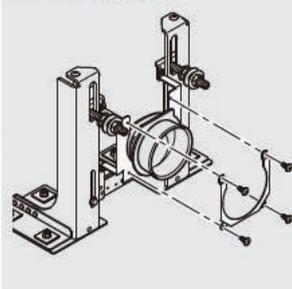
▶P.33

3 単独排水継手の設置



▶P.34

4 幕板・ソケット押え板の取り付け

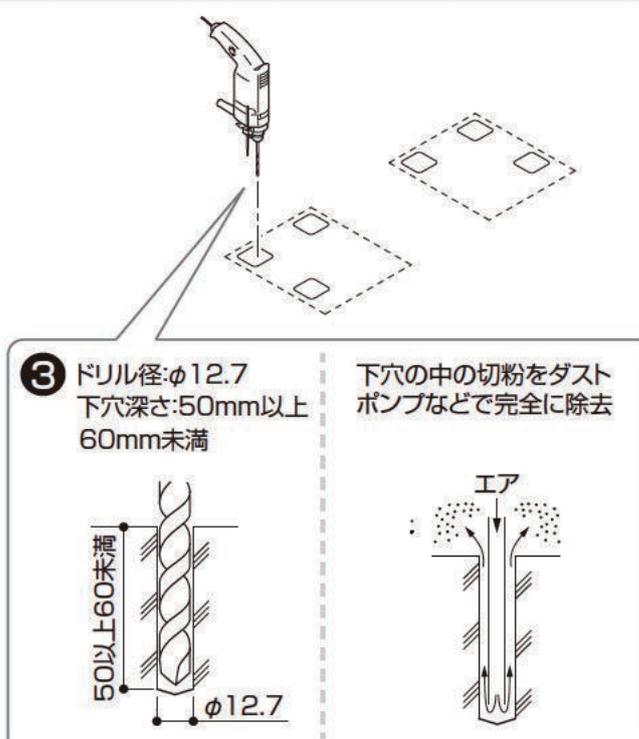
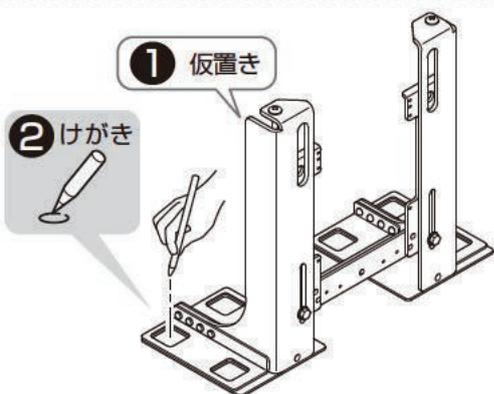
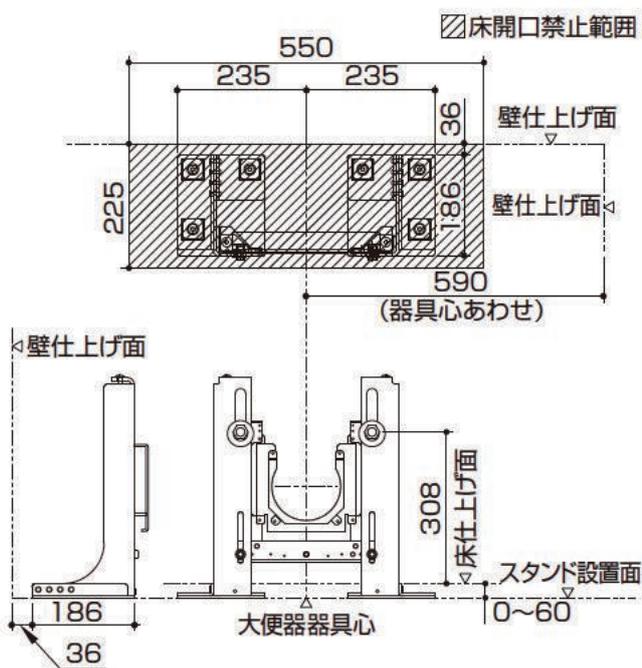


▶P.34

壁掛大便器スタンドのアンカー位置は事前施工情報を参照ください。

1 壁掛大便器スタンドの取り付け

スタンドの設置寸法



3 ドリル径:φ12.7
下穴深さ:50mm以上
60mm未満

下穴の中の切粉をダストポンプなどで完全に除去

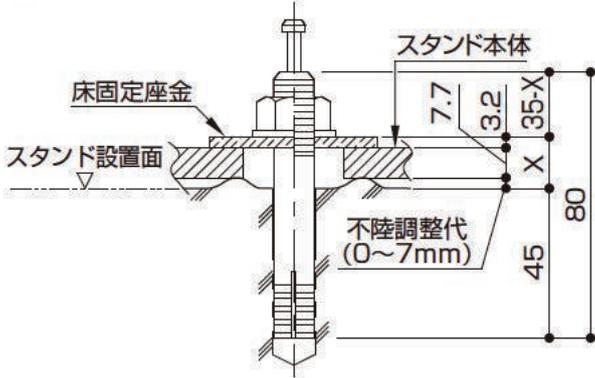
50以上60未満
φ12.7

エア

警告

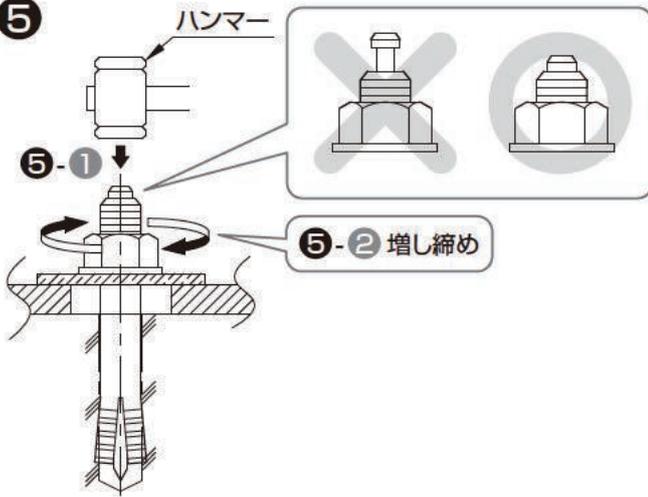
- 禁止**
 - 指定以外の径のドリルを用いたり、下穴深さが不足の状態では施工しない
強度不足による、スタンドの転倒や落下の原因となります。
 - アンカー部分のベースプレートが浮いた状態で固定しない
アンカーの必要強度が得られません。ベースプレート接地面に不陸がある場合は、床コンクリートをレベル調整するか、スペーサー(現場手配)を用いて調節してください。
- 必ず守る**
 - アンカーは穴あけ後、ダストポンプを使用して必ず穴の中の切粉を除去してから打ち込む
所定の強度を発揮できません。

④ アンカー(M12)の取り付け

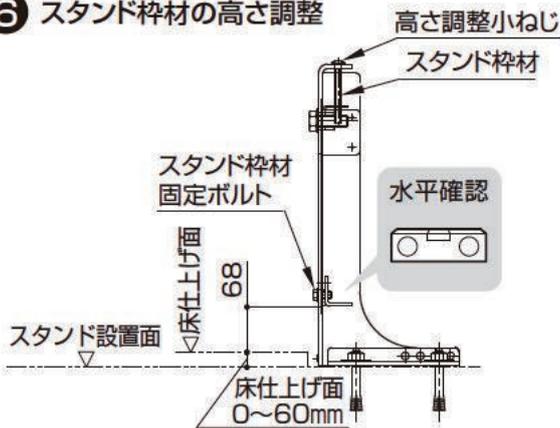


X=スタンド(t7.7)+床固定座金 (t3.2) + (不陸がある時は7mm以内)

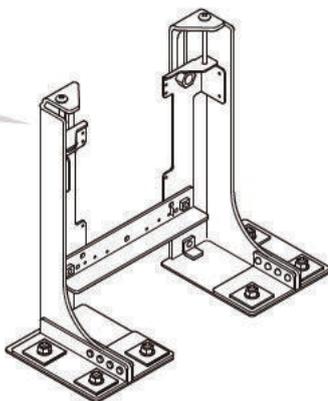
⑤



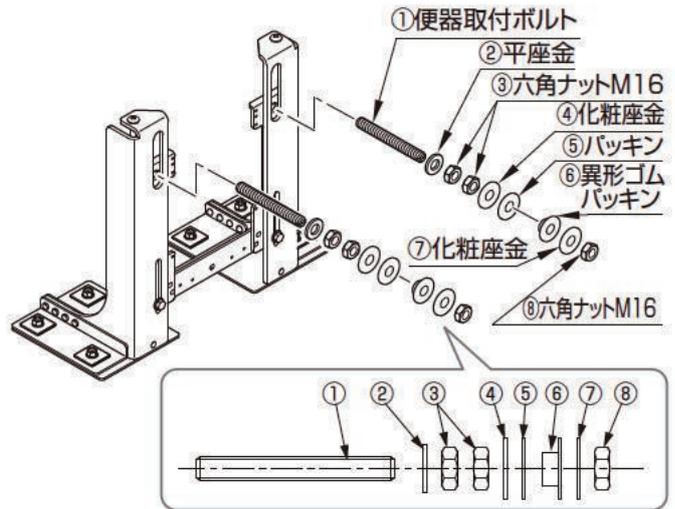
⑥ スタンド枠材の高さ調整



垂直確認



2 便器取付ボルトの仮固定

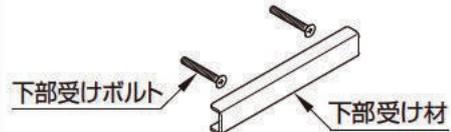


⚠ 注意

下部受け材と下部受けボルトは、便器取付ボルトなどに袋ごとテープ止めするなどして紛失しないようにする
大便器施工時使用します。
使用しないと、水漏れして建物や設備などの財産損害発生の原因となります。



必ず守る



MEMO

3 単独排水継手の設置

・排水ソケットの上下を間違えないように
取り付けてください。
(※形状をご確認ください)



配管の取り回し

! 注意



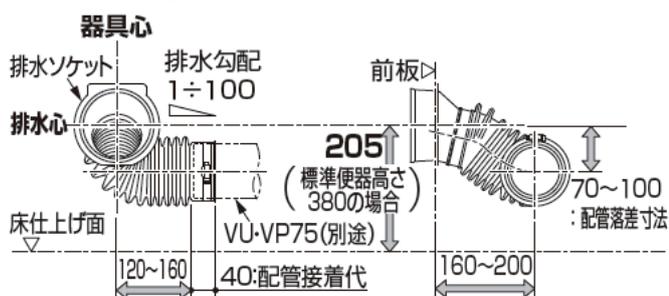
必ず守る

・配管(VU・VP75)と継手は硬質塩化ビニル
管用接着剤で接着後バンド固定する
水漏れの原因となり、周囲に損害を与えるおそれ
があります。

・継手を下に振って設置しない
壁掛大便器スタンドの固定強度が
確保できなくなります。



【横に振る場合】



! 注意

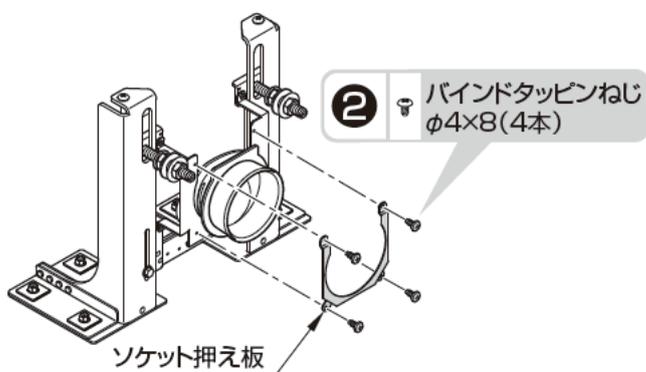
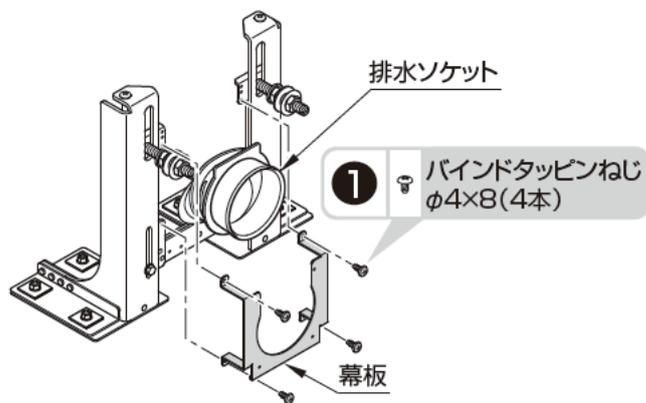


必ず守る

ジャバラ部を無理に曲げたり、逆勾配になら
ないように接続する
水漏れの原因となり、周囲に損害を与えるおそれ
があります。



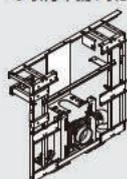
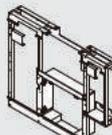
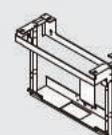
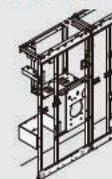
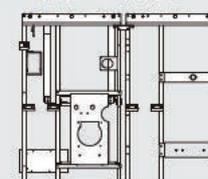
4 幕板・ソケット押え板の取り付け



MEMO

MEMO

STEP1. フレーム

<p>1 フレーム固定位置の墨出し</p>  <p>▶P.35</p>	<p>2 大便器部フレームの取付準備、取り付け</p>  <p>▶P.35</p>	<p>3 操作系部フレームの取付準備、取り付け</p>  <p>▶P.37</p>	<p>4 洗面器部フレームの取付準備、取り付け</p>  <p>▶P.39</p>	<p>5 ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部、汚物流し部の連結材の取り付け</p>  <p>▶P.40</p>
<p>6 ベビーチェア・ボード部フレームの取付準備、取り付け</p>  <p>▶P.41</p>	<p>7 幼児用小便器部フレームの取付準備、取り付け</p>  <p>▶P.42</p>	<p>8 汚物流し部フレームの取付準備、取り付け</p>  <p>▶P.43</p>	<p>9 フレームの調整と本固定</p>  <p>▶P.44</p>	

1 フレーム固定位置の墨出し

- ① 商品の仕様を確認し、床壁固定位置を墨出しする
▶事前施工情報参照

【下地がコンクリートの場合】

- ② 樹脂プラグ用の下穴を開ける



2 大便器部フレームの取付準備、取り付け

※大便器部フレームが他のフレームの基準になります。

- ① 壁ハンガーの取り付け

- ①-① けがき

- ①-③ 水平確認

- 壁ハンガー

- 大形角(4個)

- ①-④ 本固定

- ①-② 下穴

- φ3

- トラスタッピンねじ φ5×50(4本)

フレーム上端が床仕上げ面より807

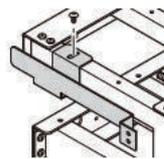
長穴中央が操作系部壁仕上げ面より590

② 調整ねじの取り付け(フレーム準備)

- ②-③

大便器部横に別のフレームが付く場合

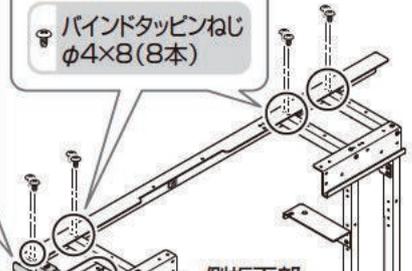
- バインドタッピンねじ φ4×8(1本)



- ③

フレームと壁ハンガーの取り付け

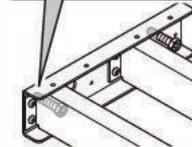
- バインドタッピンねじ φ4×8(8本)



- ②-②【上部】2カ所

- アプセットタッピンねじ φ8×30(2本)

10mm程度 フレームから突き出す



側板下部固定材

- ②-③

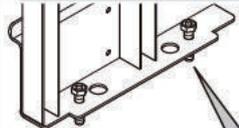
大便器部のみの場合

側板が取り付け側に、側板下部固定材を取り付ける

- 皿タッピンねじ φ4×8(2本)

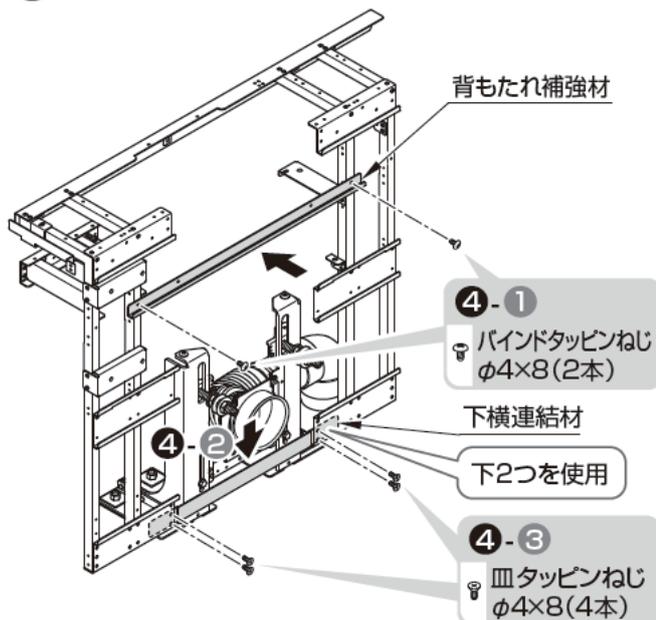
- ②-①【下部】4カ所

- アプセットタッピンねじ φ8×30(4本)



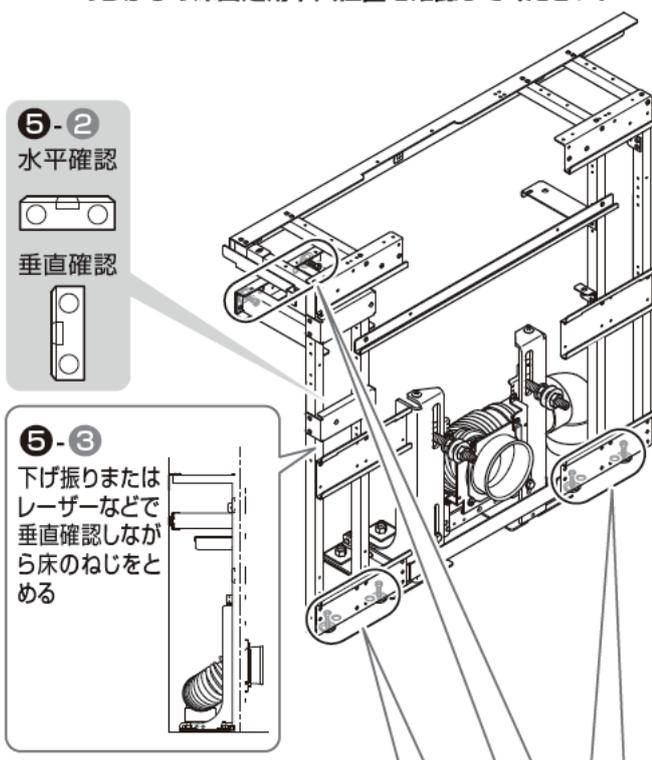
15mm程度 フレームから突き出す

④ 背もたれ補強材の仮固定



⑤ フレームの調整

※あらかじめ床固定用下穴位置を確認してください。



⑤-1

アップセット
 タッピンねじ
 $\phi 8 \times 30$ (壁:2本、床:4本)

ねじ受材は両面テープ
 で張り付ける

×
 フレームの外側に
 出さない

【壁】2カ所

【床】4カ所

ねじ受材

⑥ フレームと横材の本固定

⑥-1

binds タッピンねじ
 $\phi 4 \times 8$ (8本)

⑥-3

【壁】2カ所

ねじ受材を張り付ける

×
 フレームの
 外側に
 出さない

アップセット
 タッピンねじ
 $\phi 8 \times 30$ (2本)

⑥-4 【壁】2カ所

フレームを固定する

下穴
 $\phi 3$

トラス
 タッピンねじ
 $\phi 5 \times 50$ (2本)

⑥-2 【床】4カ所

アップセット
 タッピンねじ
 $\phi 8 \times 30$ (4本)

ねじ受材
 大形角

⑥-4 フレームを固定する

トラス
 タッピンねじ
 $\phi 5 \times 50$ (4本)

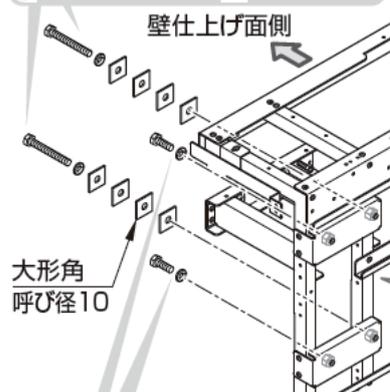
※必ず樹脂プラグを入れて
 ください。床下穴 $\phi 8$
 深さ55mm

※調整ねじの取り付け、フレームの水平・垂直調整、フレーム床壁固定位置のけがき、フレーム取り外し、樹脂プラグ取り付け、フレーム取り付けは、大便器部フレーム以外の各フレームも同様に行ってください。

⑦ はね上げ手すり固定ボルトの取り付け

六角ボルト(大)
 (2本)

ばね座金
 M10(2個)



六角ボルト(小)
 (2本)

ばね座金
 M10(2個)

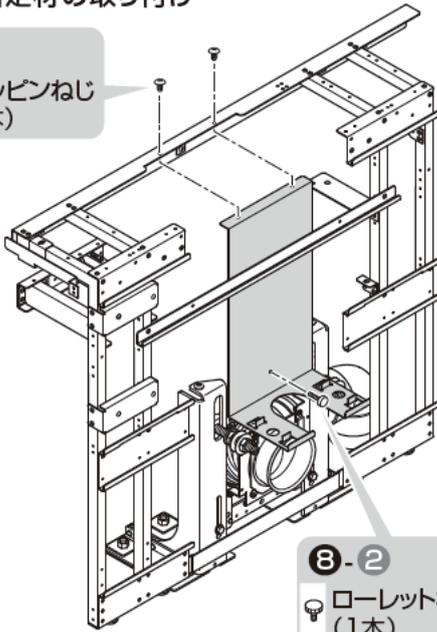
4カ所全て突き出ない
 ようにする

ボルトが突き出
 ていると前板が取り
 付けできません。

⑧ タンク固定材の取り付け

⑧-1

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)



⑧-2

🔩 ローレットねじ
(1本)

MEMO

3 操作系部フレームの取付準備、取り付け

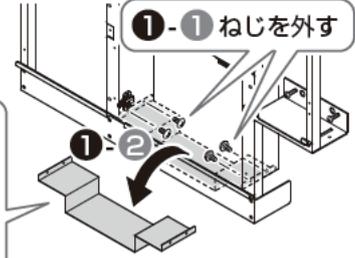
① チャームボックス受け材を外す

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)

①-① ねじを外す

①-②

取り外した部品は
⑤ チャームボックス受け材
の取り付けで使用するの
で、ねじと一緒に保管してお
いてください。



② 調整ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁上部】2カ所

🔩 アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

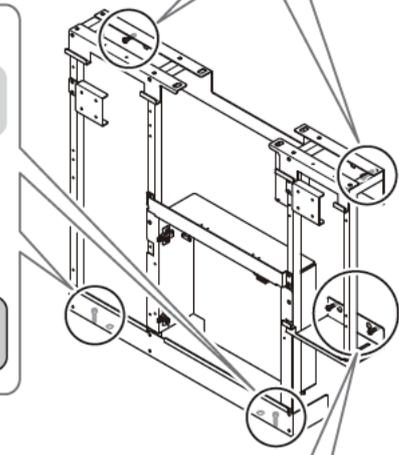
250mm以上の
ロングビット

10mm程度
フレームから突き出す

【床】2カ所

🔩 アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

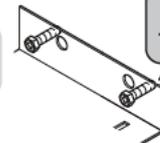
15mm程度
フレームから突き出す



【壁下部】2カ所

🔩 アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

10mm程度
フレームから突き出す



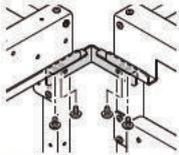
MEMO

③ フレームの位置調整

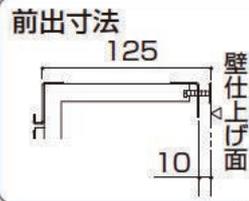
※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。

③-① 大便器部フレームと操作系部フレームに連結材を取り付ける

バインドタッピンねじ $\phi 4 \times 8$ (4本)

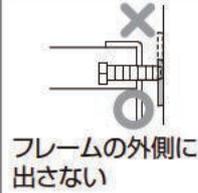


※隣りあうフレームの高さをあわせてください。



③-②【壁上部】2カ所

ねじ受材を両面テープで張り付ける

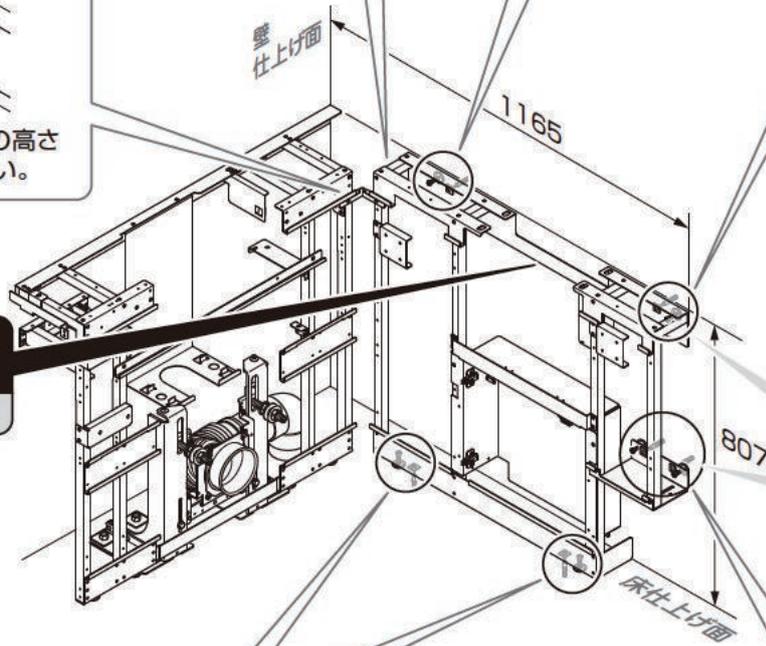


ねじ受材 アプセットタッピンねじ $\phi 8 \times 30$ (2本)



フレームを仮固定する

トラスタッピンねじ $\phi 5 \times 50$ (2本)



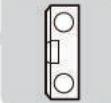
締め込み過ぎない

フレーム変形防止

③-⑤ 水平確認

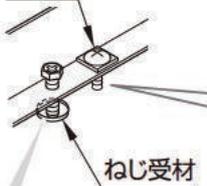


垂直確認



③-③【床】2カ所

大形角



アプセットタッピンねじ $\phi 8 \times 30$ (2本)

フレームを仮固定する

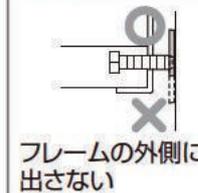
トラスタッピンねじ $\phi 5 \times 50$ (2本)

※必ず樹脂プラグを入れてください。

床下穴 $\phi 8$ 深さ55mm

③-④【壁下部】2カ所

ねじ受材を両面テープで張り付ける



ねじ受材 アプセットタッピンねじ $\phi 8 \times 30$ (2本)



フレームを仮固定する

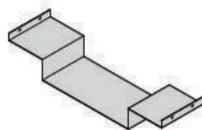
トラスタッピンねじ $\phi 5 \times 50$ (2本)



④ 仮固定のねじを本固定する

⑤ STEP1 (P.37) で外したチャームボックス受け材を取り付ける

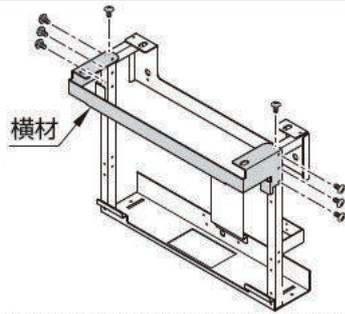
バインドタッピンねじ $\phi 4 \times 8$ (4本)



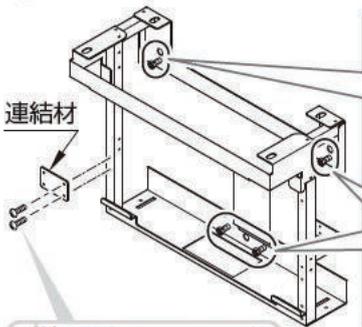
4 洗面器部フレームの取付準備、取り付け

1 横材の固定

洗面器部フレームに同梱
 バインドタッピンねじ
 φ4×8(8本)



2 連結材の固定



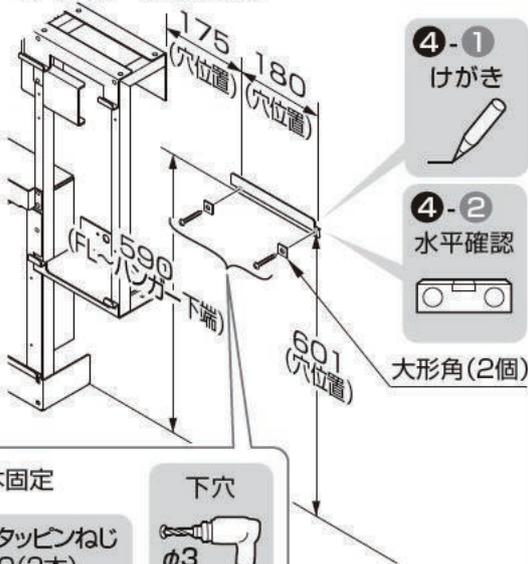
洗面器部フレームに同梱
 バインドタッピンねじ
 φ4×8(2本)

3 調整ねじの取り付け (フレーム準備)

アプセットタッピンねじ
 φ8×30(4本)

10mm程度
 フレームから
 突き出す

4 フレームハンガーの取り付け



4-1 けがき

4-2 水平確認

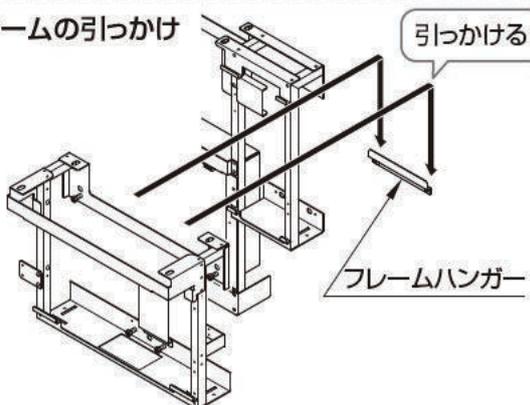
4-3 本固定

トラスタッピンねじ
 φ5×50(2本)

下穴



5 フレームの引っかけ



引っかける

フレームハンガー

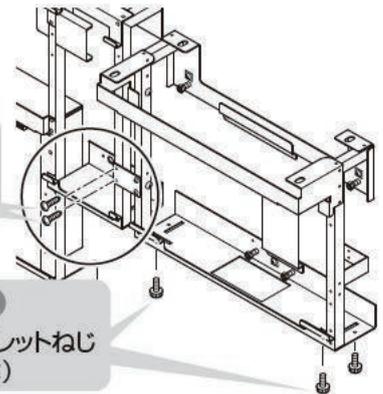
6 操作系部フレームと洗面器部フレームを連結する

6-1

バインドタッピンねじ
 φ4×8(2本)

6-2

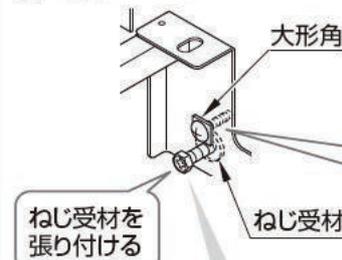
ローレットねじ
 (3本)



7 フレームの位置調整

7-1 ねじ受材を両面テープで壁に仮止めする

7-2 【壁上部】2カ所



7-5

フレームを仮固定する
 トラスタッピンねじ
 φ5×50(2本)

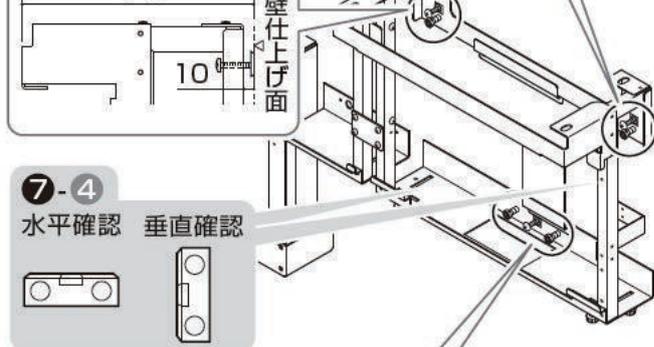
下穴



アプセットタッピンねじ
 φ8×30(2本)

前出寸法

225



7-4

水平確認 垂直確認



7-3 【壁下部】2カ所



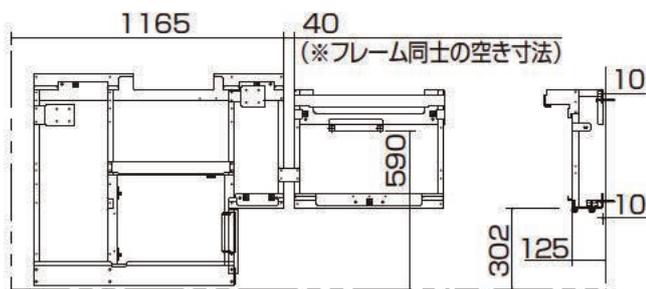
7-5

フレームを
 仮固定する
 トラスタッピンねじ
 φ5×50(1本)

下穴



フレーム調整寸法



⑧ ねじを本固定する

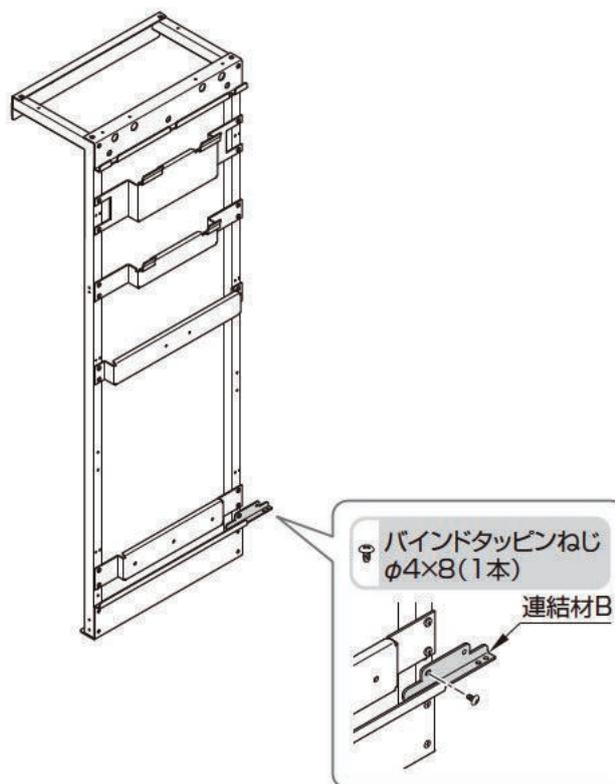
※大便器部のみ場合は
P.45「STEP2.フラー固定材・側板(側板がある場合) ③」
に進んでください。

5 ベビーチェア・ボード部、
幼児用小便器部、汚物流し部の
連結材の取り付け

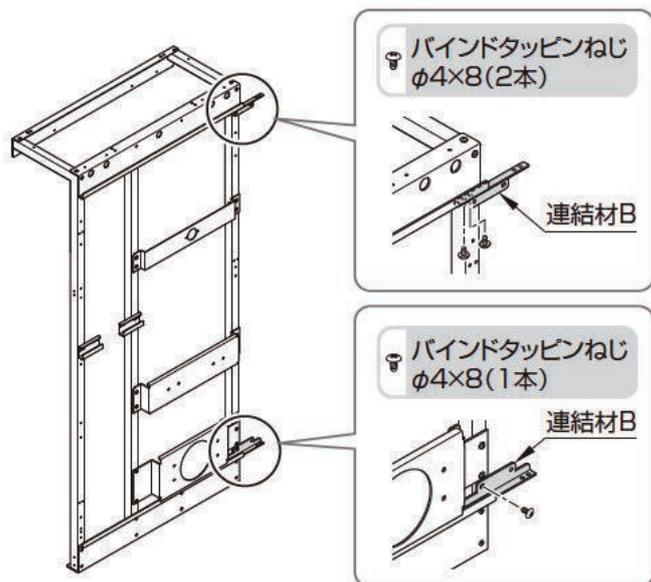
① 仕様を確認して、フレームと連結材を選定する

② フレームに連結材を固定する

【大便器部と連結する場合】
・連結材Bを固定する
※イラストはベビーチェア・ボード部の場合です。
※幼児用小便器部、汚物流し部のフレームの場合も同様です。

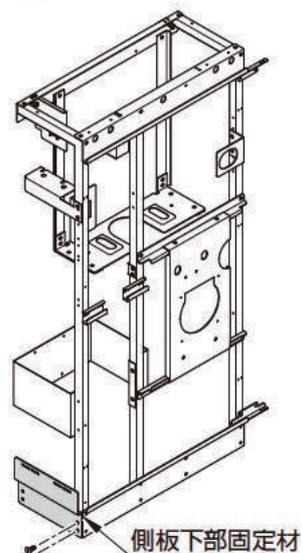


【ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部と連結する場合】
・連結材B(2個)を固定する
※イラストは幼児用小便器部の場合です。
※汚物流し部のフレームの場合も同様です。



③ 側板下部固定材の固定

【側板がある場合】
・大便器部から最も離れている器具に固定する
※イラストは汚物流し部の場合です。
※ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部のフレームにも同様に固定が可能です。



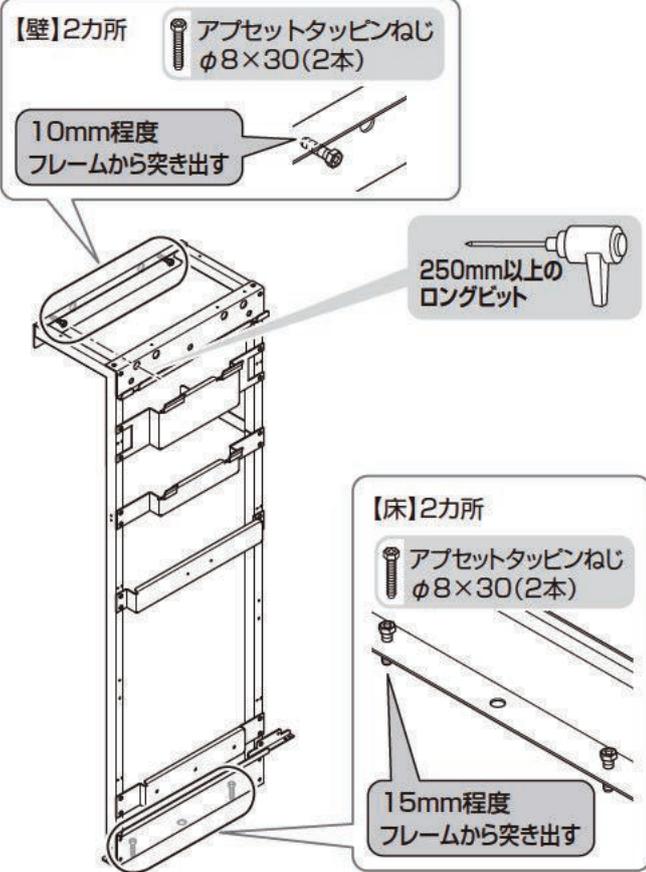
側板がある場合

側板に同梱

皿タッピンねじ
φ4×8(2本)

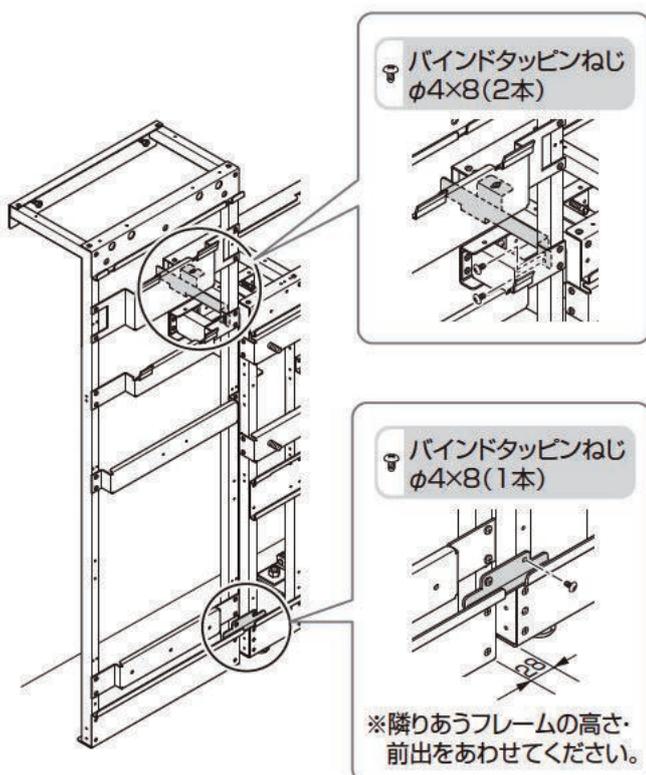
6 ベビーチェア・ボード部フレームの取付準備、取り付け

1 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)



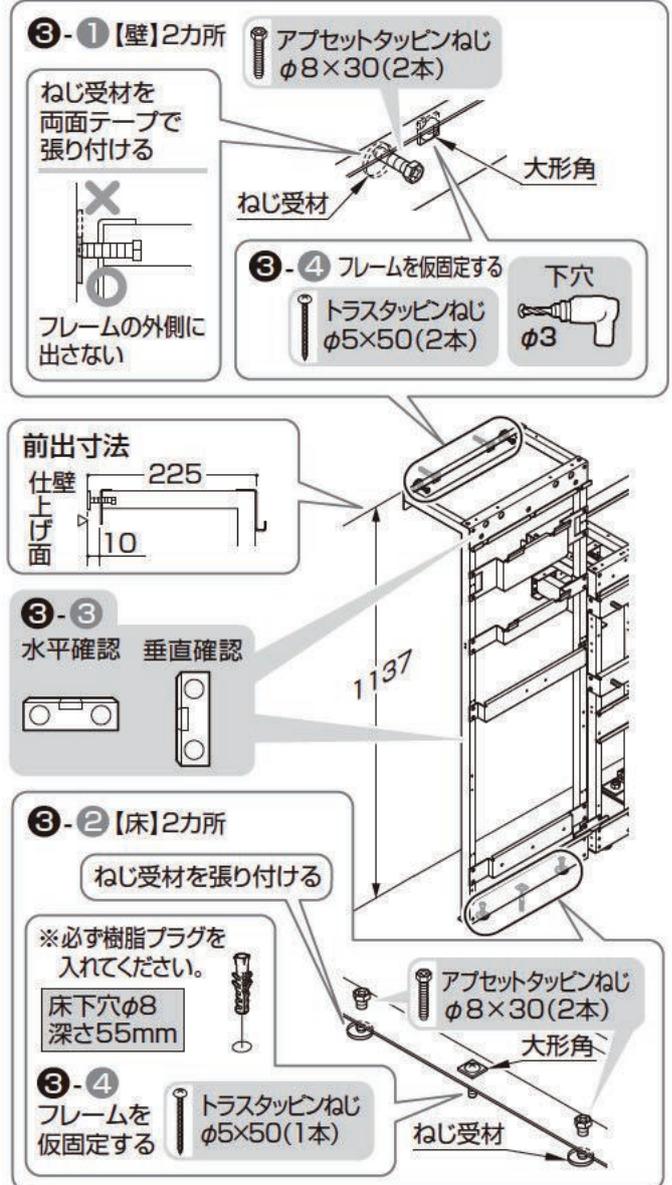
2 連結材の取り付け

・大便器部横と連結する



3 フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。



MEMO

7 幼児用小便器部フレームの取付準備、取り付け

1 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁】2カ所

10mm程度
フレームから突き出す

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

中心の穴は
使用しない

250mm以上の
ロングビット

【床】2カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

中心の穴は
使用しない

15mm程度
フレームから突き出す

2 連結材の取り付け 【大便器部と連結する場合】

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

※隣りあうフレームの高さ・
前出をあわせてください。

【ベビーチェア・ボード部に連結する場合】

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

※隣りあうフレームの高さ・
前出をあわせてください。

3 フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。

3-1 【壁】2カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

ねじ受材を両面
テープで張り付ける

ねじ受材

大形角

3-4 フレームを仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

φ3

下穴

フレームの外側に出さない

前出寸法

仕壁
225

上げ面
10

3-3
水平確認 垂直確認

1137

3-2 【床】2カ所

ねじ受材を張り付ける

※必ず樹脂プラグを
入れてください。

床下穴φ8
深さ55mm

大形角

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

3-4
フレームを
仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

ねじ受材

8 汚物流し部フレームの取付準備、取り付け

1 調整用ねじの取り付け(フレーム準備)

【壁】2カ所

10mm程度
フレームから突き出す

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

中心の穴は
使用しない

250mm以上の
ロングビット

【床】2カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

中心の穴は
使用しない

15mm程度
フレームから突き出す

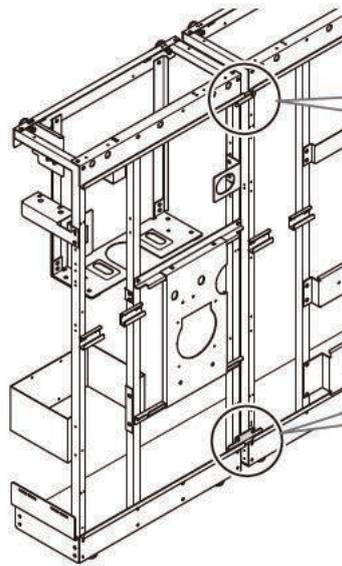
2 連結材の取り付け 【大便器部と連結する場合】

バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

※隣りあうフレームの高さ・
前出をあわせてください。

【ベビーチェア・ボード部、幼児用小便器部と連結する場合】
※イラストは幼児用小便器部と連結する場合です。ベビーチェア・
ボード部の場合も同様です。



バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)

バインドタッピンねじ
φ4×8(1本)

※隣りあうフレームの高さ・
前出をあわせてください。

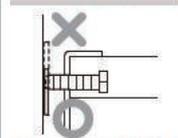
3 フレームの調整、仮固定

※あらかじめ壁・床固定用下穴位置を確認してください。

3-1 【壁】2カ所

アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

ねじ受材を両面
テープで張り付ける



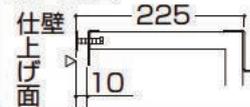
フレームの外側
に出さない

3-4 フレームを仮固定する

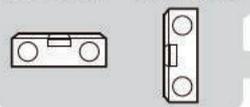
トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)



前出寸法



3-3 水平確認 垂直確認



3-2 【床】2カ所

ねじ受材を張り付ける

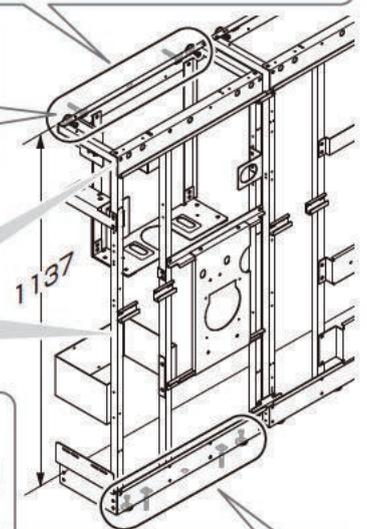
※必ず樹脂プラグを
入れてください。

床下穴φ8
深さ55mm

3-4 フレームを
仮固定する

トラスタッピンねじ
φ5×50(2本)

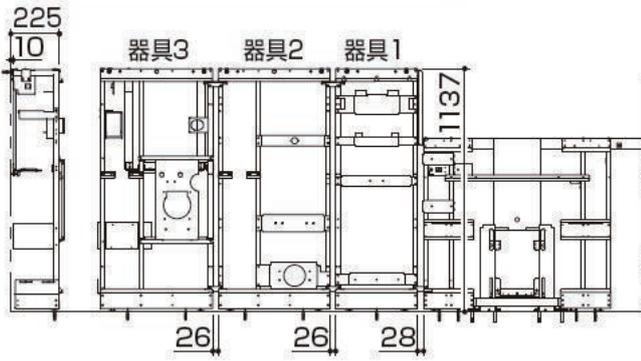
ねじ受材



アプセットタッピンねじ
φ8×30(2本)

1

9 フレームの調整と本固定



- ① フレームの位置調整
大便器部横の器具にあわせて調整する

- ② 各器具のねじを本固定する

MEMO

MEMO

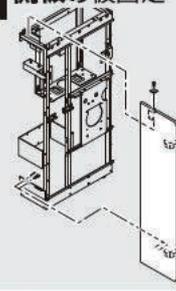
STEP2. フィラー固定材・側板 (側板がある場合)

1 フィラー固定材の取り付け



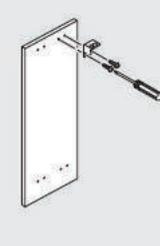
▶ P.45

2 側板の仮固定



▶ P.46

3 側板の準備



▶ P.46

4 側板の本固定



▶ P.47

※本施工説明書では、右勝手のため側板が向かって左側に取り付く場合を記載します。
左勝手の場合は側板が向かって右側に取り付くので左右反転になります。

側板なし

フィラー固定材とフィラー挟み込み材をフレームに仮固定する
※図は汚物流し部の場合。
※幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部の場合も同様です。

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8 (2本)

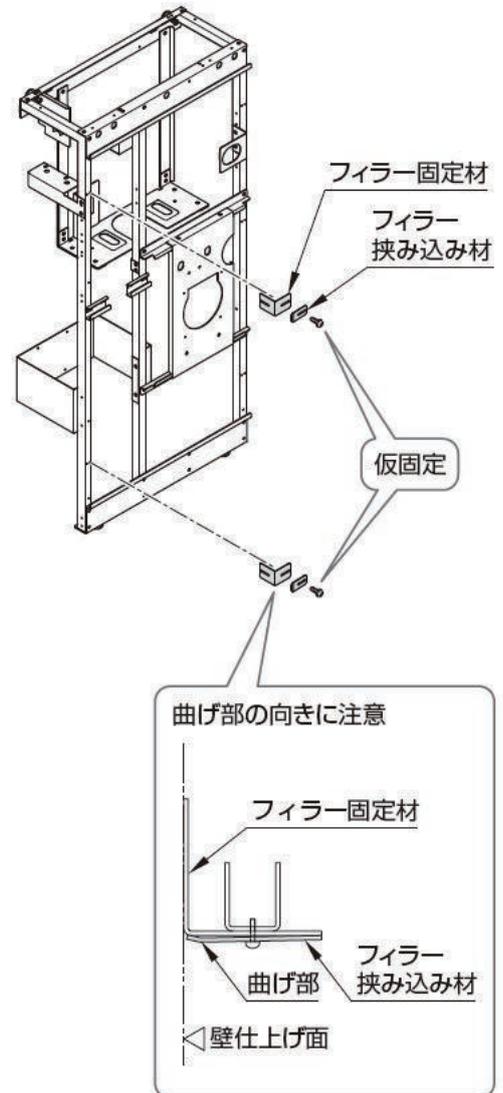
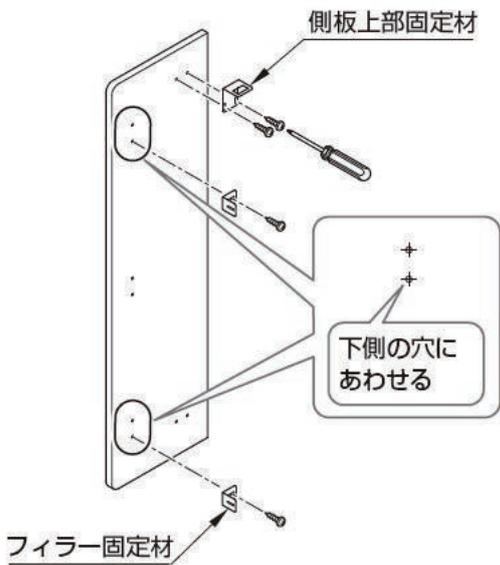
1 フィラー固定材の取り付け

※大便器部のみ場合は**3**へ進んでください。
【汚物流し部、幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部がある場合】

側板あり

フィラー固定材と側板上部固定材をねじで仮固定する
※長穴の中心を目安に手で動かせる程度。

🔩 タッピンねじ
φ4×12 (4本)



2 側板の仮固定

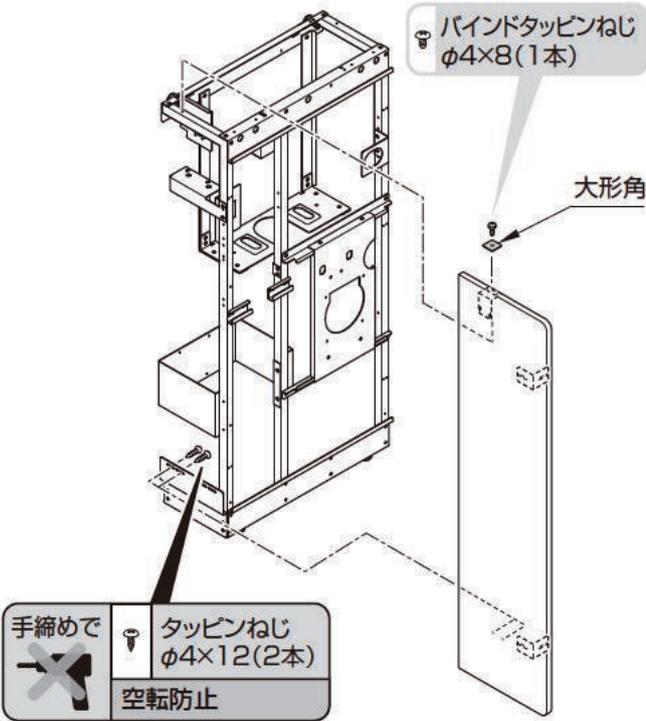
【汚物流し部、幼児用小便器部、ベビーチェア・ポード部がある場合】

※図は汚物流しの場合。

※幼児用小便器部、ベビーチェア・ポード部の場合も同様です。

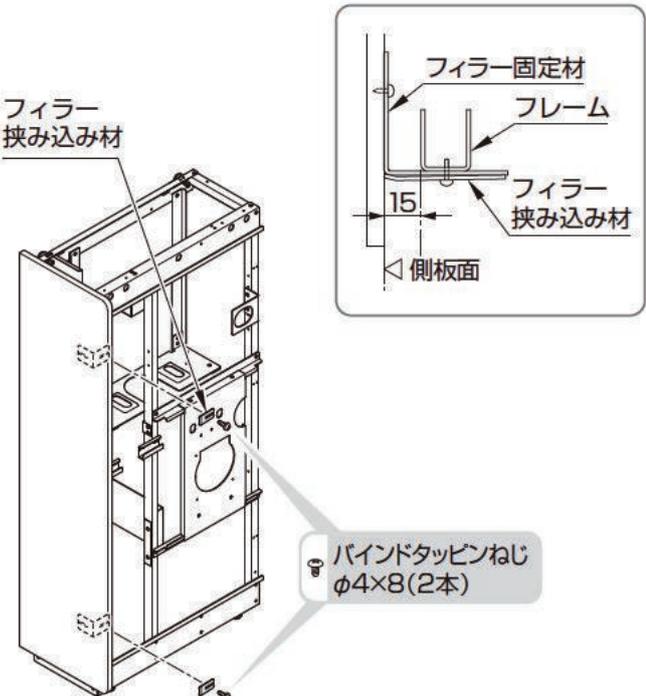
1 側板を側板下部固定材と側板上部固定材にて仮固定

※長穴の中心を目安に手で動かせる程度



2 フィラー挟み込み材をフィラー固定材の位置に仮固定する

※側板を動かせる程度

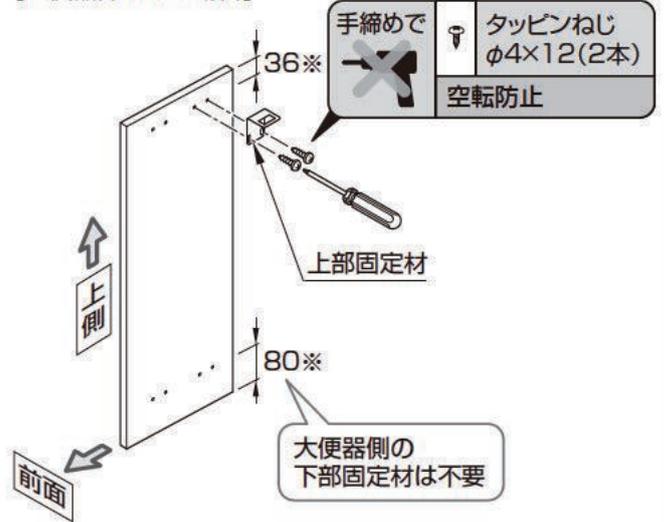


3 側板の準備

大便器部/操作系部/洗面器部

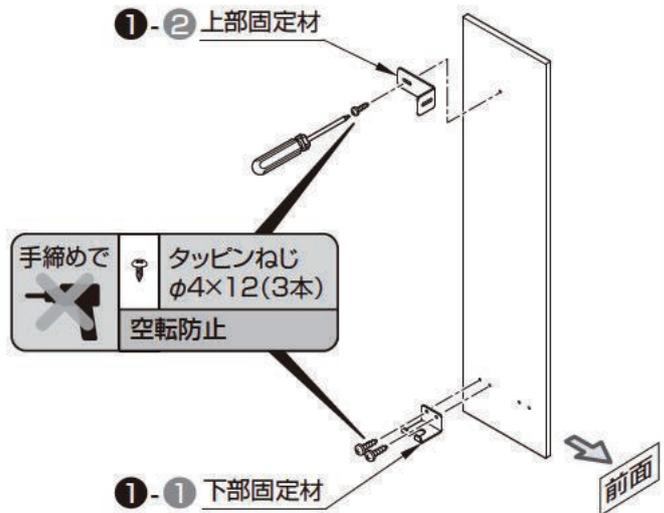
1 上部固定材と下部固定材を固定

【大便器部の場合】

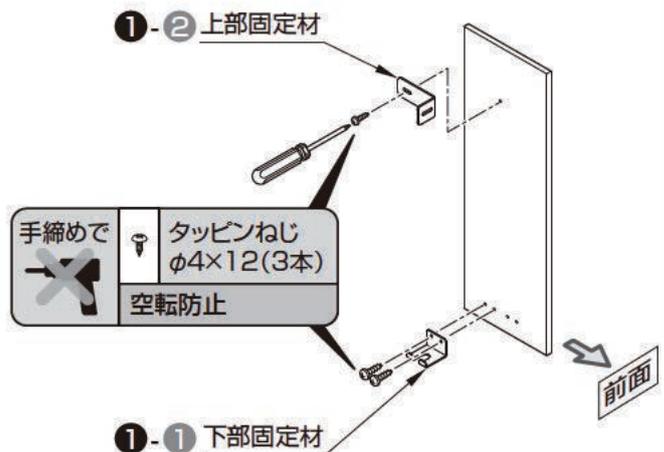


※側板の上下を間違えると甲板の設置ができません。

【操作系部(洗面器部なしの場合)】



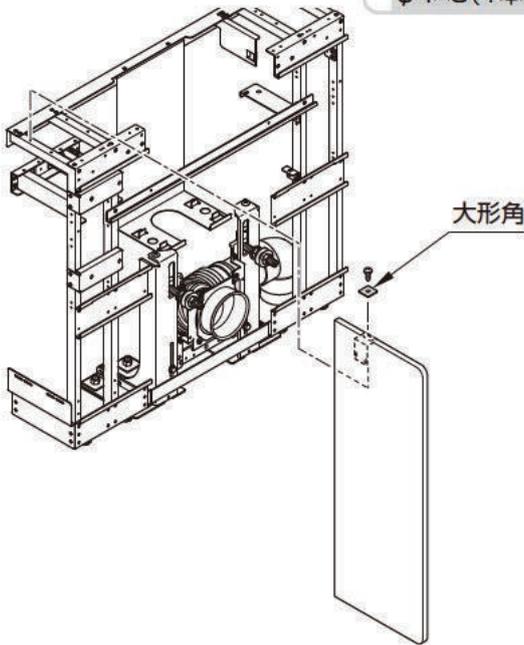
【洗面器部(洗面器部ありの場合)】



② フレームに側板を落下しない程度に仮固定する

【大便器部のみの場合】

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8 (1本)



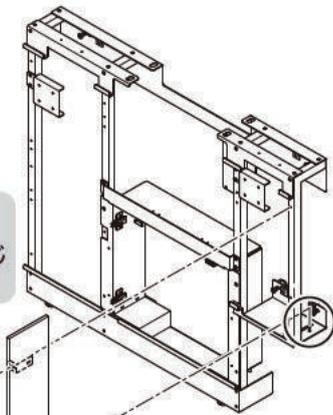
【操作系部(洗面器部なしの場合)】

手締めで



②-①

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8 (1本)



②-②

ローレットねじで固定

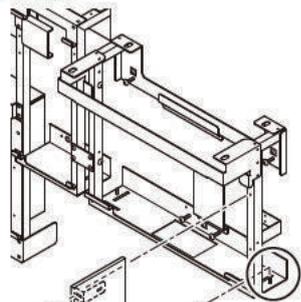
【洗面器部(洗面器部ありの場合)】

手締めで



②-①

🔩 バインドタッピンねじ
φ4×8 (1本)



②-②

ローレットねじで固定

4 側板の本固定

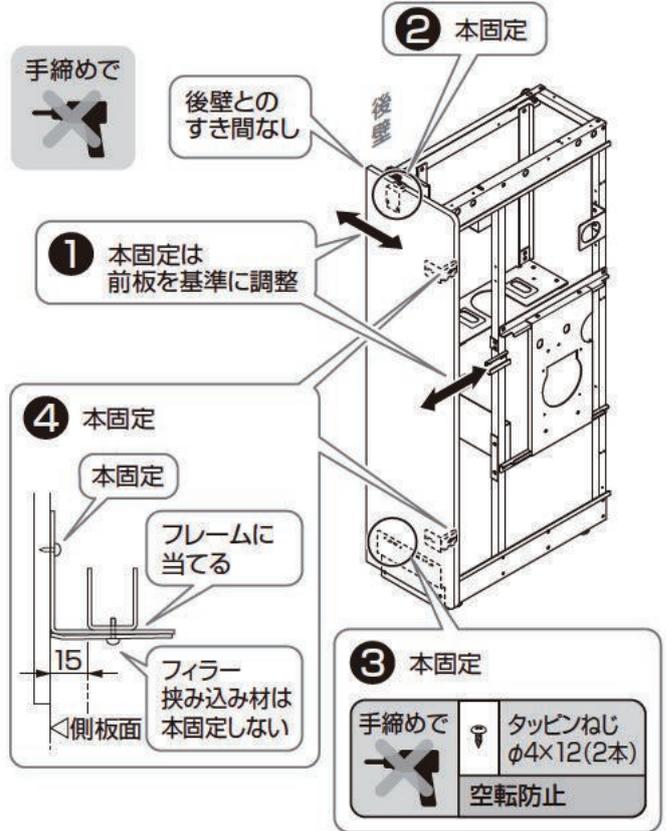
【大便器部のみの場合】

※側板の本固定はP.53「STEP5.側面パネル・前板(準備)」で行います。

【汚物流し部、幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部がある場合】

※図は汚物流しの場合。

※幼児用小便器部、ベビーチェア・ボード部の場合も同様です。



MEMO

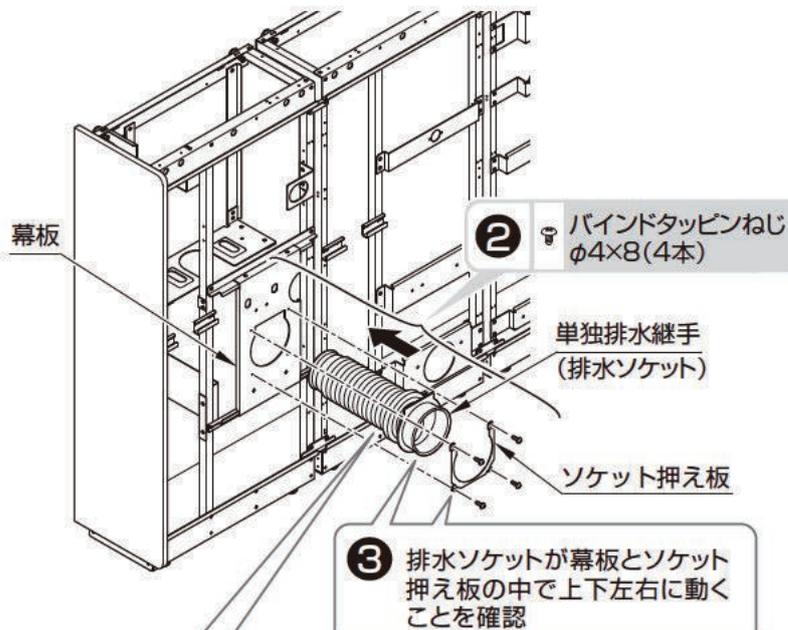
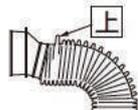
STEP3.汚物流し用排水継手

「汚物流しなし」の場合P.49
「STEP4.止水栓」に進んでください。

パッキンはSTEP14で使用

▶ 単独排水継手施工説明書参照

1 単独排水継手の向きを確認



4 内周塗布

塩ビ用
接着剤

外周塗布

塩ビ用
接着剤

ジャバラ部

ホース
バンド

5 固定

排水管 (現場配管)

! 注意



必ず守る

締め過ぎに注意する
水漏れして建物や設備などを
めらす財産損害発生の原因と
なります。

! 注意



必ず守る

- ・ ジャバラ部は必ず排水管に接着する
- ・ ジャバラ部を無理に曲げたり逆勾配にならないよう接続する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

MEMO

STEP4. 止水栓

【大便器部】と【汚物流し部】で施工方法が異なります。
商品タイプをご確認のうえ、作業を進めてください。

1 止水栓・分岐金具・L継手の接続



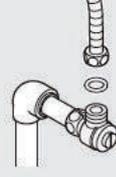
▶ P.49

2 サーモスタット・止水栓の接続



▶ P.51

3 止水栓の接続



① 止水栓の接続

▶ P.52

② フレキ管の接続

▶ P.52

大便器部

汚物流し部

汚物流し部

幼児用小便器部

4 止水栓

大便器部

1 止水栓・分岐金具・L継手の接続

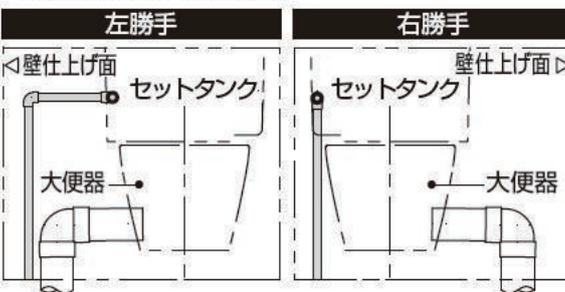
選択された仕様により取り付ける止水栓・継手が異なります。下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

水道水仕様の場合

ウォシュレットあり・※ パウチしびん洗浄水栓あり	ウォシュレットあり・※ パウチしびん洗浄水栓なし
<p>↑ パウチしびん洗浄水栓 ウォシュレット ↓ セットタンク</p>	<p>ウォシュレット ↓ セットタンク</p>

※分岐金具はウォシュレットに同梱

< 給水立ち上げ位置 >



再生水仕様の場合

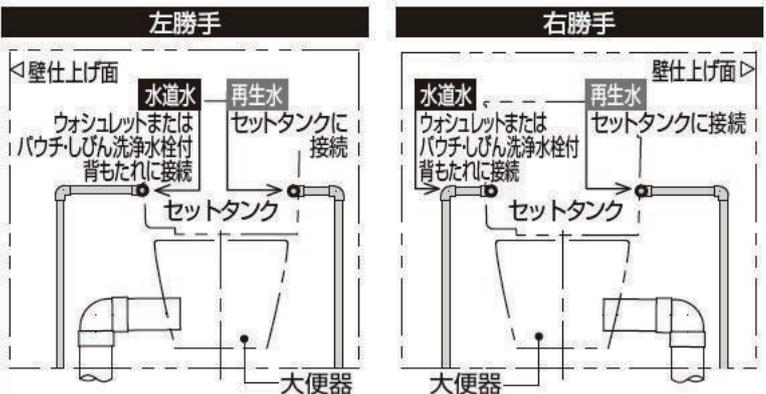
再生水側	水道水側	
	ウォシュレットあり・※ パウチしびん洗浄水栓あり	ウォシュレットあり・※ パウチしびん洗浄水栓なし
<p>↓ セットタンク</p>	<p>ウォシュレット パウチ・しびん洗浄水栓</p>	<p>ウォシュレット ふさぎふた</p>

※分岐金具はウォシュレットに同梱

< 止水栓位置 >

⚠ 注意

再生水仕様の場合、水道水と再生水を間違えないよう給水接続をする
必ず守る 故障や皮膚の炎症などをおこす原因となります。



汚物流し部 ※大便器部のみの場合P.53「STEP5.側面パネル・前板（準備）」に進んでください。

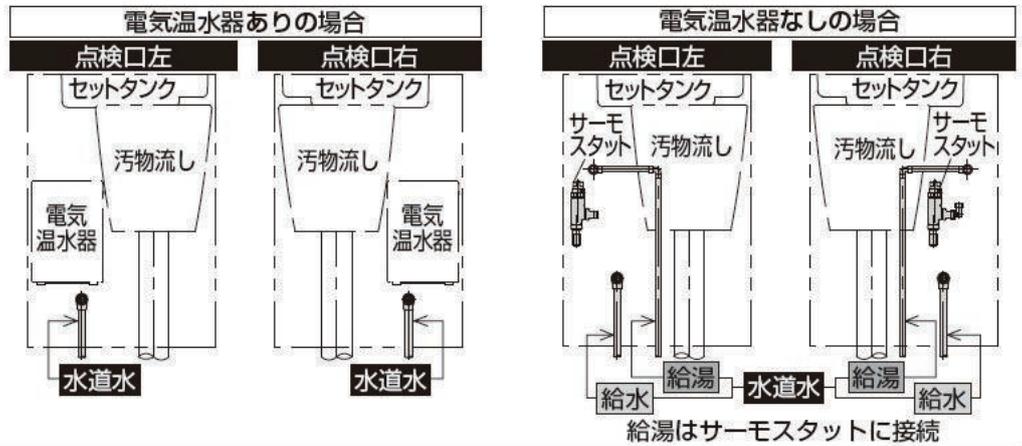
1 止水栓・分岐金具・L継手の接続

選択された仕様により取り付ける止水栓・継手が異なります。
下表に従い、図の向きにあわせて取り付けてください。

水道水仕様の場合

電気温水器あり・点検口左	電気温水器あり・点検口右	電気温水器なし・点検口左	電気温水器なし・点検口右
<p>セットタンク ↓ 電気温水器</p>	<p>セットタンク ↓ 電気温水器</p>	<p>給湯</p> <p>給水 シングルレバー ↓ サーモスタット</p>	<p>給湯</p> <p>給水 シングルレバー ↓ サーモスタット</p> <p>※サーモスタット ※フレームに付いています</p>

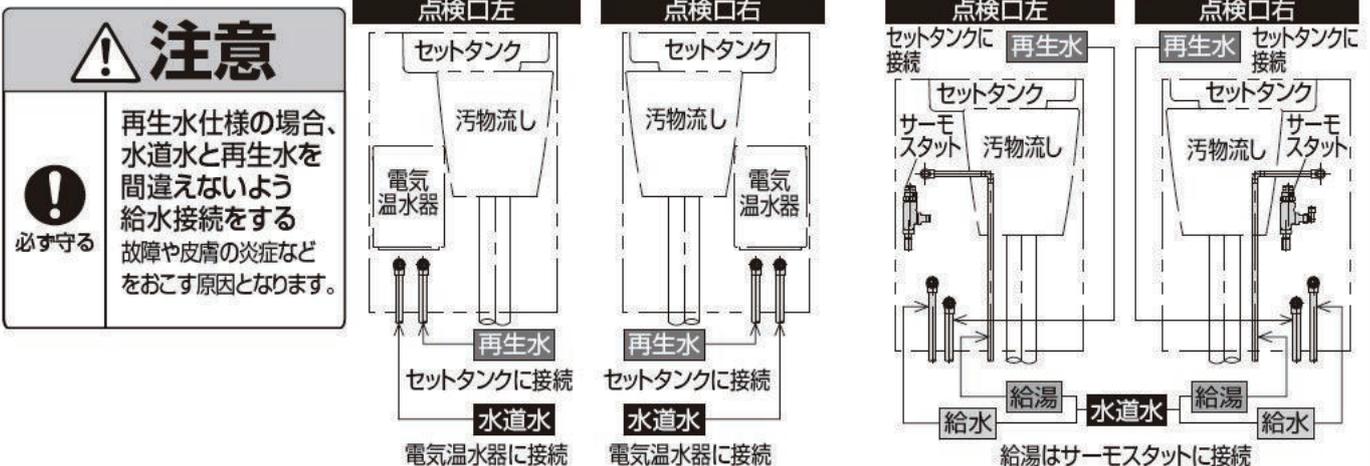
<給水立ち上げ位置>



再生水仕様の場合

再生水側	水道水側		
	電気温水器あり	電気温水器なし・点検口左	電気温水器なし・点検口右
<p>点検口右</p> <p>点検口左</p>	<p>左右勝手とも 下向き</p> <p>電気温水器</p>	<p>給湯</p> <p>サーモスタット</p>	<p>給湯</p> <p>サーモスタット</p> <p>※サーモスタット ※フレームに付いています</p>

<止水栓位置>



2 サーマスタット・止水栓の接続

下記表を参考に、各止水栓とサーモスタットをフレキホース・フレキ管で接続します。

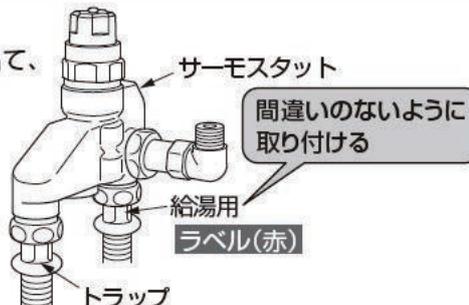
サーモスタットの接続先	長さ
止水栓(給水管用)フレキホース	約600mm
止水栓(給湯管用)フレキ管	約500mm

警告

湯水を逆に接続しない
水を出そうとした際に湯が出て、
やけどの原因となります。

【サーモスタットの取出口】

- ・奥(壁)側…給湯用
- ・手前側…給水管

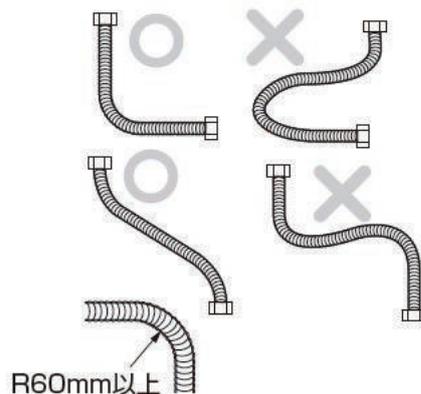


禁止

【フレキ管】

注意

- ・フレキ管の取り付けは必ず下記の項目にそれぞれ注意して行う
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
- ・フレキ管は、取り付けの前にあらかじめ所定の形に曲げる
フレキ管は小さい角度で曲げないでください。
また、袋ナット付け根部分を曲げないでください。
- ・1～2回程度の曲げで所定の形にする
曲げ作業をくり返すと破損するおそれがあります。
- ・必ず同梱のパッキンを使用する
- ・袋ナットは十分締め付け、取付後、水漏れがないことを確認する
- ・フレキ管は極端に折らず、R60mm以上を確保する
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。



R60mm以上

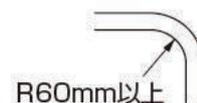


必ず守る

【フレキホース】

注意

- ・フレキホースの取り付けは必ず下記の項目にそれぞれ注意して行う
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。
- ・必ず同梱のパッキンを使用する
- ・袋ナットは十分締め付け、取付後、水漏れがないことを確認する
- ・フレキホースは極端に折らず、R60mm以上を確保する
- ・フレキ管とフレキホースは接触させない
水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。



R60mm以上



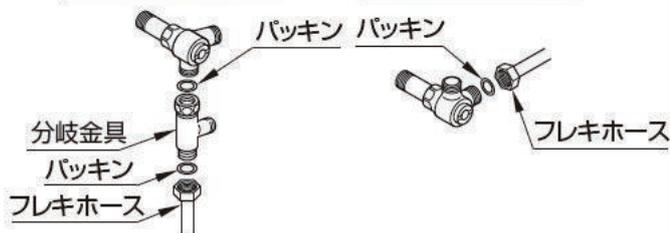
必ず守る

止水栓(給水管用)は一方の口をサーモスタットと接続し、もう一方の口はシングルレバーと接続します。
下記を参照して、接続する口を間違えないよう取り付けてください。
シングルレバーの給水・給湯ホースの接続 ▶P.83「STEP15.汚物流し用セットタンク 8」参照

点検口左の場合

水道水仕様の場合

再生水仕様の場合



点検口右の場合

水道水仕様の場合

再生水仕様の場合



⚠ 注意



禁止

接続する給水口を逆に配管しない

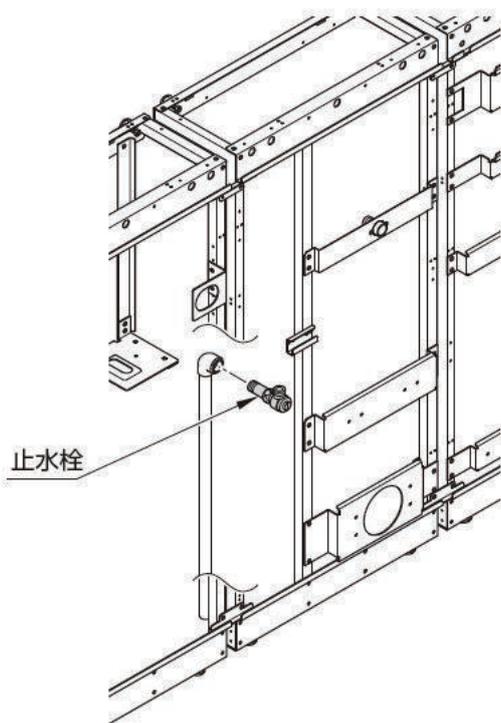
フレキホースに無理な力がかかってキクの原因となり水漏れして建物や設備などをめらす財産損害発生の原因となります。

幼児用小便器部

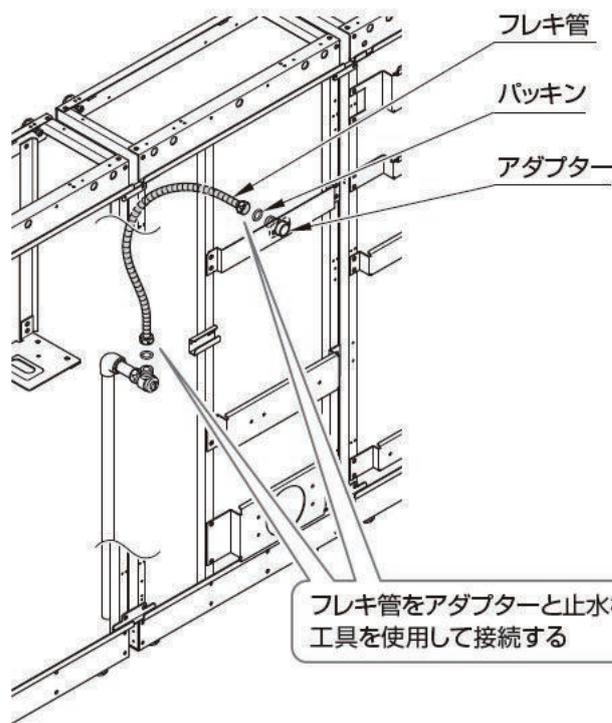
3 止水栓の接続

※イラストは点検口左の場合ですが、点検口右の場合も同様です。

① 止水栓の接続

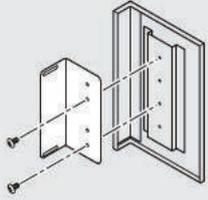


② フレキ管の接続



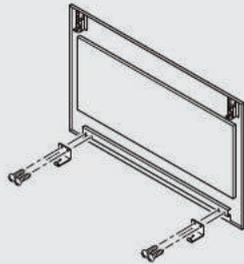
STEP5.側面パネル・前板(準備)

1 操作系部側面パネルの準備



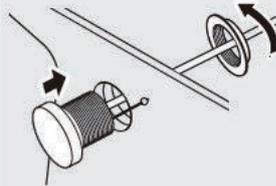
▶P.53

2 洗面器部前板の準備



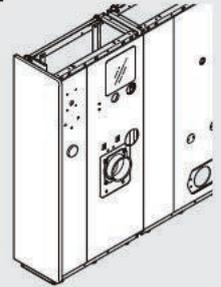
▶P.53

3 停電時洗浄レバーの準備



▶P.53

4 前板の仮組み・側板の固定



▶P.54

1 操作系部側面パネルの準備

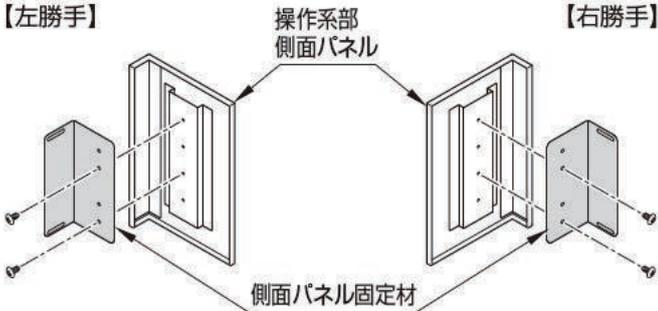
1 養生フィルムをはがす

2

手締めで



バインドタッピンねじ
φ4×8(2本)



3 停電時洗浄レバーの準備

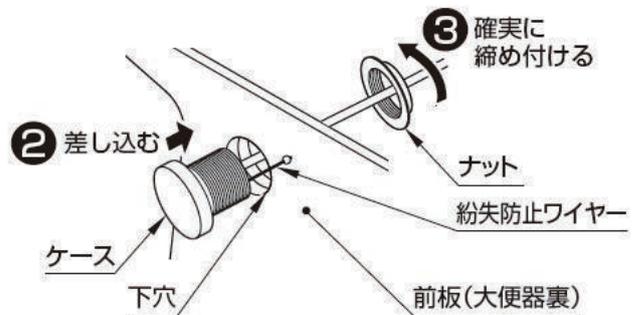
停電対応ありの場合

【大便器部／汚物流し部共通】

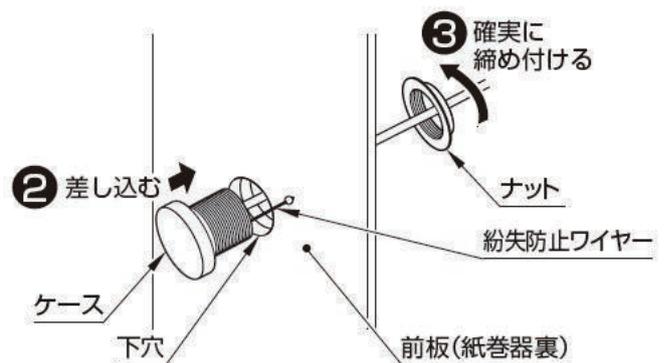
1 養生フィルムをはがす

開口に紛失防止ワイヤーを通して、ワイヤーをねじ部に挟み込まないように取り付ける

【大便器部】



【汚物流し部】



2 洗面器部前板の準備

手締めで



バインドタッピンねじ
φ4×8(4本)



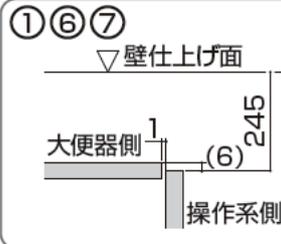
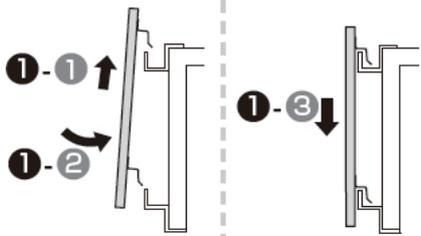
4 前板の仮組み・側板の固定

① ①～⑬の順番で前板を設置し、②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬の前板の穴の中心に下穴を開ける

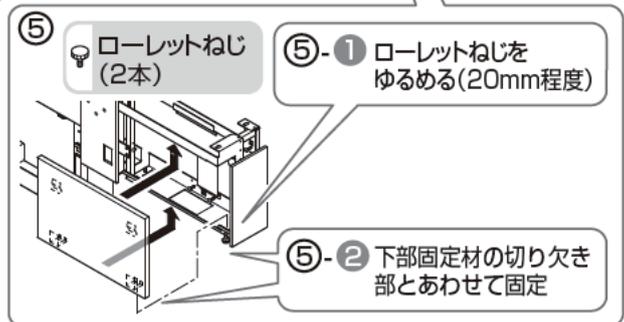
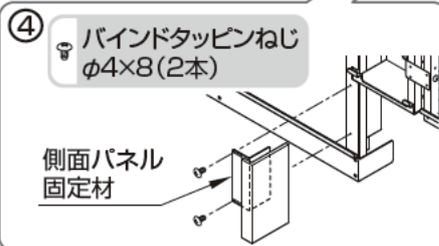
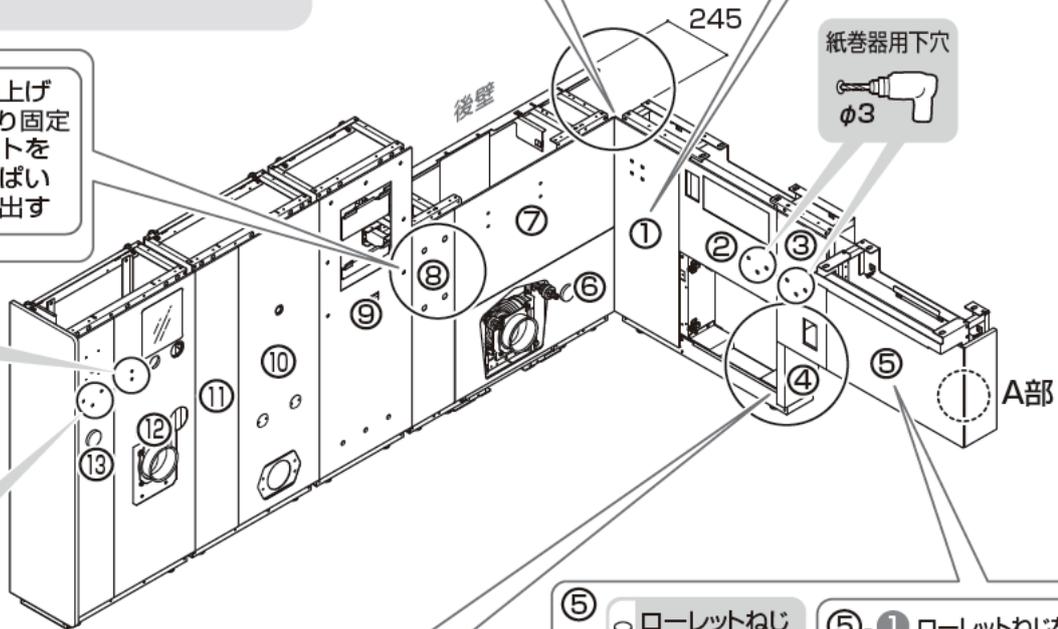
注意

仮組みの段階で④⑥⑧⑬のみ養生フィルムをはがす

前板の取り付けかた



① 壁仕上げ面から、245mm程度離して①の前板を取り付ける

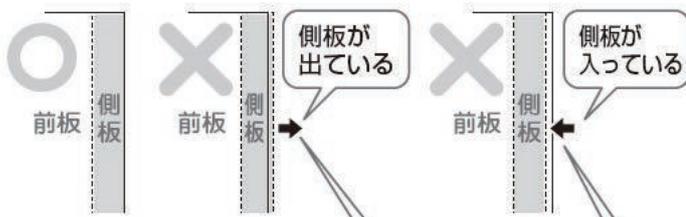


② 各前板の段差を解消させる

- ③、④の縦線
- ③、⑤の下部段差

③ 側板の調整、固定

【正面から見た図】 ※P.54 A部の例

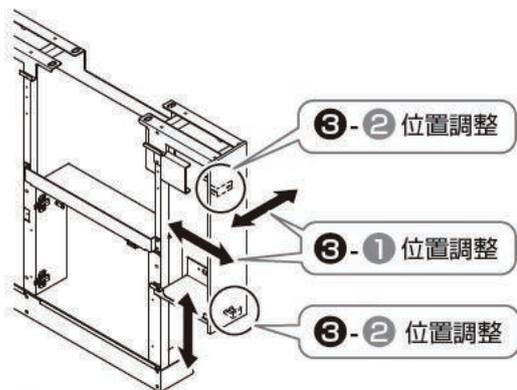


【前板と面があっていない場合】
前板を取り外し、側板を壁面に対して、前後、上下させ調整を行う

調整方法

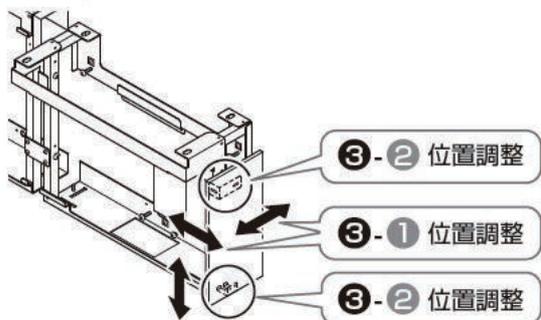
【操作系部(洗面器部なしの場合)】

手締めで



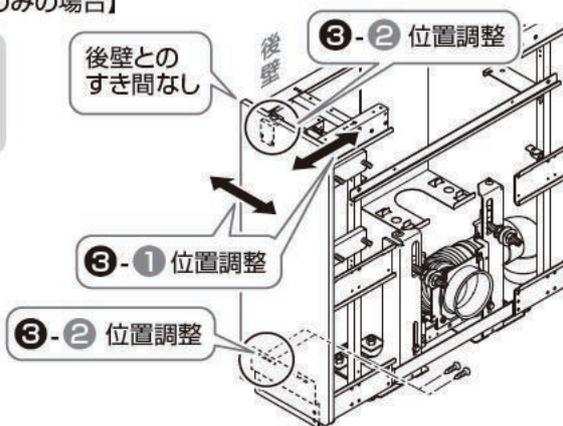
【洗面器部ありの場合】

手締めで



【大便器部のみの場合】

手締めで



パインドタッピンねじ
φ4×12(2本)

④ 調整したねじを固定する

手締めで



※前板を取り付け、取り外ししながら現場で調整してください。

⑤ 調整完了後、側面パネル、はね上げ手すり裏以外の全ての前板を取り外す

※後のSTEPで内部機器の設置をやすくするためです。

MEMO